



2026年6月16日

朝日生命保険相互会社

蓄電所を投資対象とする「カン-d e n c h iファンド」への投資について

朝日生命保険相互会社（社長：石島健一郎、以下「当社」）は、蓄電所を投資対象とする「カン-d e n c h iファンド 1号投資事業有限責任組合」への投資を決定しましたので、お知らせします。

近年、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、再生可能エネルギーの出力抑制が増加しています。蓄電所は、電力の余剰時には充電し、不足時には放電することにより、再生可能エネルギーの有効活用や電力需給の安定化に貢献します。

本ファンドは、関西電力グループが開発・運営する蓄電所を投資対象とするものです。

<概要>

名 称	カン-d e n c h iファンド 1号投資事業有限責任組合
運 営 会 社	カン-d e n c h iファンド合同会社（関西電力出資） きんでん蓄電池ファンド合同会社（きんでん出資） 株式会社MUF Gサステナブルエナジー（三菱UF J銀行出資）
設 立 日	2026年3月31日
投 資 対 象	特別高圧の蓄電所
存 続 期 間	26年
対応する持続可能な開発目標（SDGs）	 

当社は社会課題の解決に向けたポジティブなインパクトの創出、ネガティブなインパクトの抑制を目指すと共に、投融資リスクの削減と収益機会の獲得に取り組んでおり、グリーンボンドや太陽光発電事業を中心とした再生可能エネルギー分野への投融資を行ってまいりました。

2024年4月から開始した3カ年の中期経営計画「ネクストA」におきましても、社会課題の解決に向けた重点項目（マテリアリティ）として責任投資の推進を掲げており、今後も責任ある機関投資家として脱炭素社会の実現に向けたESG投融資を一層推進してまいります。

以 上